

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と20年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	日比田水路改修整備事業	所管	下水道部河川課
			TEL 2998-9375

事業目的 (何の為に 行うか)	水路の氾濫による浸水被害を防止する。
-----------------------	--------------------

事業の 具体的 内容	計画 全体	①水路延長2,600mを改修整備する。 ②調節池3箇所を築造する。
	平成 19 年度	日比田水路第1調節池拡張工事(貯留量2,500m ³)を施工した。

事業の 推進状況	進捗率	～平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	終了予定年度
		84.7%	86.3%	89.5%	90.2%	96.1%	100.0%	平成 23 年度
		見込まれる総事業費(千円)		2,525,177		事業開始からの累計額(千円)		1,979,222

H19 経費	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	56,718	54,209	61,724	182.0

成果 (結果として どうなったか)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	降雨による水路の氾濫	1年間に発生する水路の氾濫による浸水被害回数	-	0	*****
			単位 分	単位 分	単位 %

今後の 方向性 (所管の 意見)	◎事業計画の見直しの必要性・・・ * 有り 無し ◎事業実施方法の見直しの必要性・・・ 有り * 無し
	◎総事業費見直しの必要性・・・ 有り (増額 減額 休止 終了) * 無し

今後の 方向性 (二次評価 の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり		増額	減額	終了		

平成 20 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名	部課コード 080500 区 2998-9375		
事業コード 080501	日比田水路改修整備事業		
担当部課	下水道部河川課		
開始年度 平成 10 年度 → 終了年度 平成 23 年度	グループ 工務担当		
事業の種類	<input type="checkbox"/> 土地利用	<input checked="" type="checkbox"/> 土木建設	<input type="checkbox"/> 建築
	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度
① 事業の概要	根拠法令 公共物管理条例		
	分野別計画・指針 所沢市環境基本計画		
	関連・類似事業		
総合計画の体系	政策 第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策 7節 河川・治水	中柱 1 治水対策の強化
	小柱 * * * * *		
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 40 位		
	実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		
コード	3221	コード	3222
	公共工事のコスト構造改革		入札制度等の見直し
事業開始の背景	日比田水路沿いでは、大雨時に低地部に於いてたびたび浸水被害が発生している。また、局地的な集中豪雨が増加傾向にあるなか、流域内で都市計画道路・東部クリーンセンター・所沢カルチャパーク等の事業が進められることから、これらの施設を含む流域全体の雨水対策が求められたため、事業が開始された。		

② 事業の内容	目的(何のために行うのか、具体的に)		
	水路の氾濫による浸水被害を防止する。		
	事業開始後の環境変化(人口推移等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)と対応		
	近年は環境にも配慮した水路改修が求められていることから、川底には石を敷き、護岸は玉石積模様とするなど自然環境や景観に配慮する。		
	事業の具体的な内容及び実施方法		
計画全体	①水路延長2,600mを改修整備する。 ②調節池3箇所を築造する。		
H19	日比田水路第1調節池拡張工事(貯留量2,500m ³)を施工した。		

③ 事業の推進状況	事業の進捗率(%)						総事業費(予)(千円)
	~平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	84.7%	86.3%	89.5%	90.2%	96.1%	100.0%	平成 23 年度
	解決すべき課題とその対応策						H19までの事業費累計(千円)
	計画のとおり進捗している。						1,979,222

④ 経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		58,576	56,718	83,793
	決算(見込み含む)		57,229	54,209	
	正規職員人件費	0.50 人	4,600	0.80 人	7,515
	公債費				
	事業費合計		61,829	61,724	
	財源内訳	一般財源		61,829	61,724
	国・県支出金				
	受益者負担金				
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		183.0	182.0	

※「財源内訳」について平成19年度のみ、当初予算の内訳となっており、「正規職員人件費」「公債費」はふくみません。

⑤ 指	項目名	降雨による水路の氾濫	計算方法	1年間に発生する水路の氾濫による浸水被害回数	単位	分	H 18	H 19	H 20	将来目標
	成果分析					目標値	-	-	-	0
						実績	0	0		実績値の拡大を図る
						% 達成率	*****	*****		実績値の縮小を図る
⑥ 一次評価	成果指標の設定理由及び目標値の考え方	平成12年・13年に、それぞれ2回日比田水路が氾濫し浸水被害が発生したことを踏まえて設定し、将来目標値を0回とした。								

⑥ 一次評価	評価項目	評価内容		
	妥当性	事業の優先度・緊急性	流域内には主要道路や住宅地もあることから、市民生活の安全と環境衛生の向上を図るため、今後も優先的に推進していく。	
	効率性	事業実施手法の効率化及びコスト削減の取り組み	工事に伴う発生土は、その一部を他の事業に使用し有効利用を図るとともに、調節池の底は素掘りの状態とし、使用資材の削減に努める。	
	効果・便益	事業に要する費用と効果(便益)の比較	日比田水路流域内における浸水被害は、大幅に解消されることから、事業効果は極めて高い。	
⑥ 一次評価	H 20	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
	目標設定	日比田水路第1調節池拡張工事を施工する。	貯留量5,500m ³	平成20年度内
	評価理由	事業計画の見直しの必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ 方理向由性及び今後の <input type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒ 流域全体で雨水対策を検討した計画としているが、状況に応じて変更していく。 <input type="checkbox"/> 見直しの必要有り ⇒ 雨水流出が増大する傾向であり、今後も浸水被害の恐れがあることから、計画のとおり進める。 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し ⇒	
総合評価	し総の事業必要性見直し理由	<input type="checkbox"/> 見直しの必要有り⇒(<input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了) <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要無し 事業は、計画のとおり進捗している。		
	評価日	平成20年6月4日	記入者職氏名	河川課主幹 仲 幸次

⑦ 二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 終了
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	事前評価	部内優先順位… 2 位 非常に高い 高い やや低い 低い 優先度 <input checked="" type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価理由	各地で都市型の集中豪雨が多発する中、当該地域は浸水被害の恐れもあるため、計画通り事業を進められたい。外部評価にもあるとおり、親水性に配慮された水路は評価できるため、予算の範囲で取り組まされたい。	

⑧ 外部評価	外部評価	《外部評価の実施》 H19 <input checked="" type="checkbox"/> H20 <input type="checkbox"/> 【下記は平成19年度に実施した評価及び対応です。】
	対応	・親水性に配慮した水路は、流域住民にとって憩いのスペースである。市街化区域の流域に敷設していることは安全性、効率性の面で評価できる。 ・本水路の敷設が進むにつれ浸水被害が無くなっており、本事業の目的は達成している。近年、都市集中型の降雨が問題となっているが、こうした際にも被害が生じないよう、全水路の完成による雨水処理能力の向上を期待する。

⑨ 環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	181
施策体系	1-8災害の対策	施策の方向	1-8-1防災施設の充実